

## 2024 年度 関私教協 第 3 回幹事校会議事録

1. 日時：2024 年 6 月 24 日（月）18:30～19:35

2. 形態：オンライン会議

3. 出席者：

【幹事】高瀬 幸恵(桜美林大学・事務局長)、尾高 進(工学院大学・事務局次長)、  
岡田 佳子(芝浦工業大学・事務局次長)、山下 暁子(青山学院大学)、  
黒住 早紀子(駒澤大学)、青木 研作(東京成徳大学)、  
大家 まゆみ、河野 誠哉(東京女子大学)、木之下 健一、須藤 和代(目白大学)、  
白石 一徳(文化学園大学)、森田 満夫(立教大学)、  
斎藤 遼太郎(茨城キリスト教大学)、北村 篤司、横澤田 朋美(昭和音楽大学)、  
小澤 真紀(芝浦工業大学)、福山 多江子、古橋 真紀子(東京成徳短期大学)

【事務担当】岩井 瑞恵(桜美林大学)

【オブザーバー】大室 さおり、山口 賢(芝浦工業大学)、黒岩 友見子(桜美林大学)

4. 2024 年度第 2 回幹事校会議事録の確認

高瀬事務局長より、第 2 回幹事校会議事録（案）が示され、これを承認した。

5. 協議

【報告事項】

(1) 研究部の活動について

・千葉・茨城地域：7/24（水）13：30-17:00 に定期総会および第 1 回研究会をハイブリッド方式にて開催する。研究会では外国にルーツのある子どもに関する内容を扱う。

(2) 広報部の活動について

・北村広報部長より、『会報』第 95 号の発行が完了したことが報告された。また、第 96 号については、合同研究大会の部分のみ進めている。今週中に最終稿を東教協に送る予定である。  
・7 月中に広報部および事務局で未知の駅と打ち合わせを行う予定である。

【審議事項】

(1) 2024 年度臨時総会、研究部総会、第 1 回研究部会について

・高瀬事務局長より、資料に基づき開催概要と申し込み方法、議案書案および進行計画について説明と提案があった。  
・会長校候補大学に関して、全私教協の会長・事務局長、関私教協の会長・事務局長、東教協会長・事務局長、東実協（東教協の前身）の会長・事務局長を担当した大学を除くことを確認した。これは前例を踏襲する方法であることも確認した。  
・会長校候補大学を確定後、速やかに幹事にメールで知らせ、その後、会員校にメールで通知することとする。  
・第 1 回研究部会では名簿を作成し、研究計画について検討すること。8 月末までに事務局に報告をする。様式は事務局より送付する。  
・上記のことを承認した。

(2) 研究部会に係るホームページ掲載原稿の依頼について

・北村広報部長より、第 1 回研究部会の内容について、ホームページに掲載するため、各部会の世話人に原稿執筆の依頼があった。様式に基づいて作成し、8 月末までに提出をする。ホームページに掲載するため、写真撮影が入る予定である。これについて承認した。

(3) 2024 年度会員校名簿について

・高瀬事務局長より、8 月の月上旬頃に会員校に対して名簿訂正依頼を行うこと、締切は 9 月半ばとすることについて説明があった。昨年と同じように、データでの配付の形を取る。

これについて承認した。

(4) 幹事校会内でのメールアドレスの共有について

- ・事務局より、幹事間でのメールアドレスの共有について了解を得たことについて説明があった。これに基づきリストを作成して共有することとする。これについて承認した。

(5) その他

- ・高瀬事務局長より、12 月の研究懇話会の企画について研究部で検討を進めてもらいたい旨の話があった。
- ・白石幹事より、部会長・副部会長の任期を決めたほうが良いという提案を受けているという報告があった。事務局や幹事校会で部会長・副部会長の任期を決定するという方法も考えられるが、各部会で規模や進め方が異なるため、一律に決定することには課題がある。この件については継続審議とする。また、第3部会と第8部会の統合についての提案もされているため、部会のあり方について継続的に検討することとする。

【配付資料】

資料1－1：関私教協 2024 年度臨時総会、研究部総会および第1回研究部会の案内（案）

資料1－2：関私教協 2024 年度臨時総会議案書（案）

資料1－3：関私教協 2024 年度臨時総会、研究部総会および第1回研究部会進行計画表（案）

資料2：2024 年度関私教協各研究部会からのホームページ掲載原稿

以上